

京都大学医学部附属病院 循環器内科

臨床研究に関する情報公開

＜研究課題名＞大動脈疾患ならびに末梢動脈疾患の診療に関する多施設共同実態調査

＜研究期間＞承認日～西暦2025年 12月 31日

＜意義・目的＞ 大動脈疾患・末梢動脈疾患の診療や予後の実態、ならびにそれらの関連因子を明らかにすることです。診療や予後の実態が明らかになることで、これまでの疾患管理戦略を科学的に見直すことができます。さらに、治療成績等との関連因子を分析し、どのような特徴を有する患者さんが診療の恩恵をより被っているのかが明らかとなることで、効果的な管理戦略を見出せる可能性があります。また、今後、新しい管理戦略が開発されたとき、本研究は従来治療の成績を反映する対照データとして重要な情報を提供することができます。

＜方法＞ 全国多施設共同調査として、2004年1月以降に研究参加施設において大動脈疾患・末梢動脈疾患の診療を受けた全ての患者さん（およそ10,000名）を対象に、同院における通常の医療行為の中で取得された・あるいは取得される予定の診療情報を用いて分析を行います。

具体的には、研究参加施設の診療記録から、年齢・性別等の患者背景情報、併存疾患も含めた病名やその重症度、治療状況、身体所見（身長、体重、血圧など）、血液・尿検査、生理画像検査等の結果、血行再建術後再狭窄・再閉塞、大動脈瘤破裂、下肢切断、他の心血管疾患、死亡等の発生状況等に関する情報を抽出し、電子カルテ内のfile makerに入力してデータを出力します。入力したデータから研究対象者の氏名ID等の個人情報を除いたデータを出力し、大動脈疾患・末梢動脈疾患の診療・治療成績の実態を明らかにするとともに、各種因子の関連性を統計学的に解析します。データは電子化されて解析を行う機関に送られます。研究代表施設（研究責任者）は、小倉記念病院（循環器内科 曾我芳光）、関西労災病院（循環器内科 飯田修）であり、大動脈疾患・末梢動脈疾患の診療に携る医療機関が全国規模で参加します。本研究は京都大学の倫理審査委員会の審査を受け、研究期間の長（病院長）の許可を受けています。

なお、必要な情報のみを統計資料として集計しますので、患者さんのお名前など個人を特定できる情報が明らかになることはありませんので、ご安心ください。本研究に患者さんの診療情報が用いられることを取りやめてもらいたい場合は、患者さんご本人もしくは委任された代理人の方から下記＜問い合わせ窓口＞までご連絡ください。ご連絡いただいた患者さんの診療情報の利用を停止させていただきます。

★本研究の対象となられる患者さんで本研究にご賛同いただけない方は、下記の＜問い合わせ窓口＞までご連絡ください。

＜本学における研究責任者＞

京都大学医学部附属病院 循環器内科 教授 木村剛

＜問い合わせ窓口＞

京都大学医学部附属病院 循環器内科 担当： 田崎淳一

電話：075-753-4255 (E-mail) jun1@kuhp.kyoto-u.ac.jp

京都大学医学部附属病院 総務課 研究推進掛

電話：075-751-4899 (E-mail) trans@kuhp.kyoto-u.ac.jp